

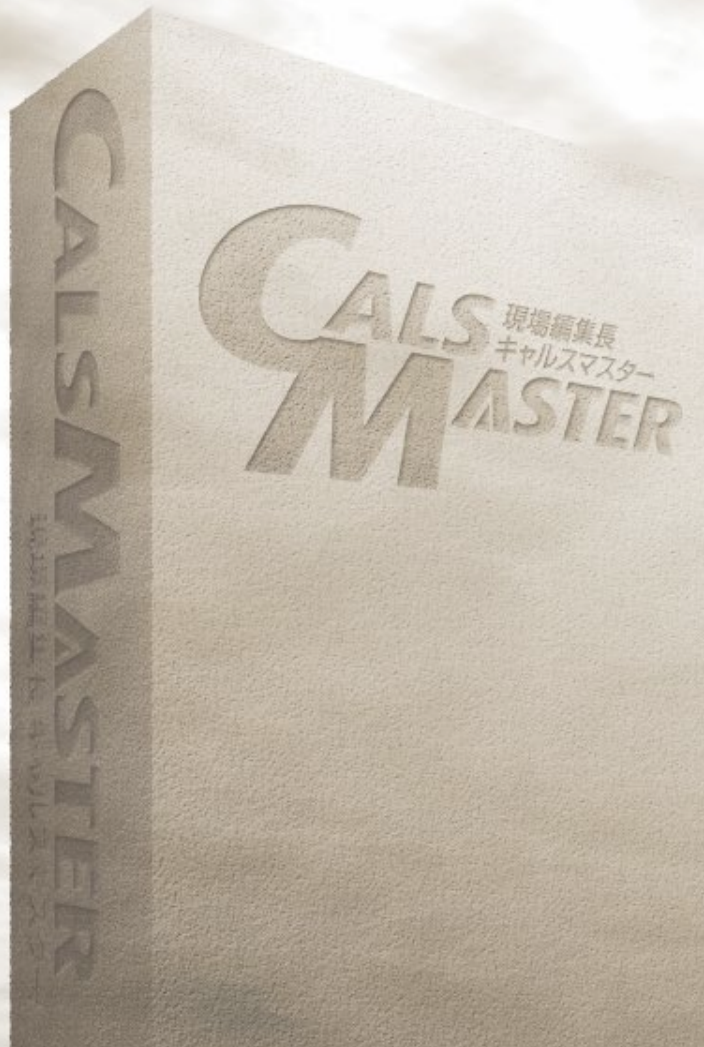
CALSMaster

現場編集長 キャルスマスター

<https://www.calsmaster.com/>

簡単運用マニュアル 出来形管理ツール編

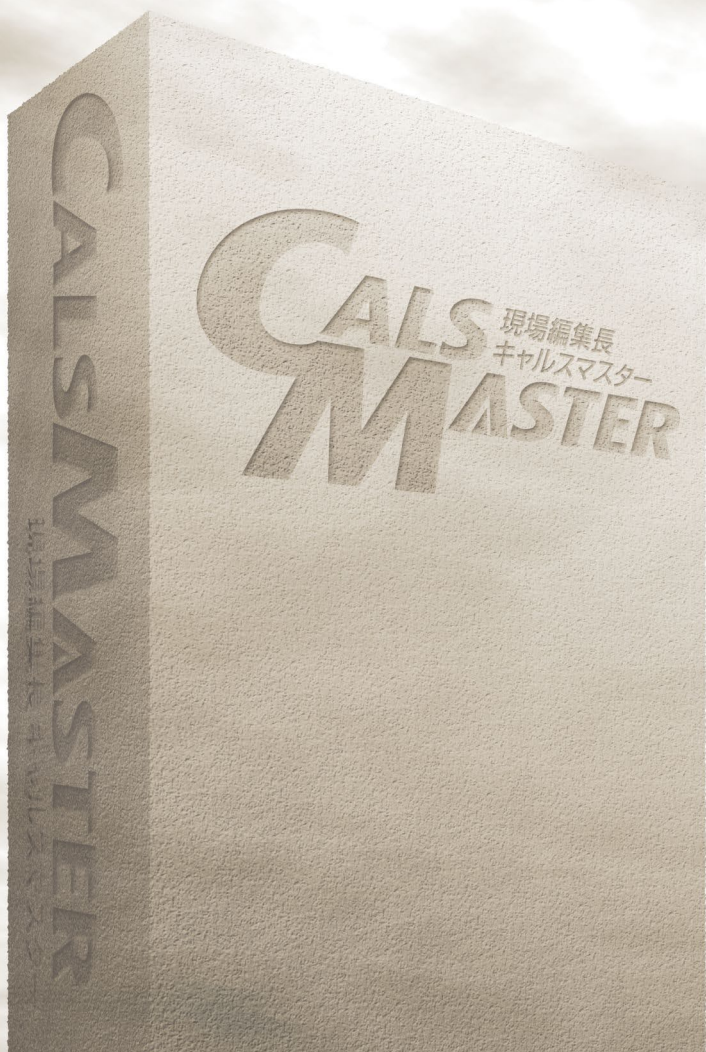
本マニュアルは出来形管理ツールによる編集の一例をご案内しています。
本ツールには、その他に様々な編集方法や機能が多数存在します。
詳しい操作方法是、工事管理画面のマニュアル一覧タブより「取扱説明書」をご覧ください。



目次

STEP1	帳票様式の登録	Page: 3
1-1	様式マスターを開く	Page: 4
1-2	帳票様式マスターの読込	Page: 5
1-3	帳票様式マスターのダウンロード	Page: 6
STEP2	工事・工種・項目の作成	Page: 7
2-1	提出先の設定	Page: 8
2-2	出来形管理ツールの起動	Page: 9
2-3	工事情報の編集	Page: 10
2-4	工種の追加	Page: 11-12
2-5	帳票様式の選択	Page: 13
STEP3	データ入力	Page: 14
3-1	データ入力画面	Page: 15
3-2	項目情報	Page: 26
3-3	単位設定	Page: 17
3-4	測点の入力	Page: 18
3-5	設計値の入力	Page: 19
3-6	実測値の入力	Page: 20-23
3-7	リンク写真と施工管理値の確認	Page: 24
3-8	豆図の選択	Page: 25
STEP4	印刷	Page: 26
4-1	印刷装飾の設定	Page: 27
4-2	各帳票様式ごとの印刷設定	Page: 28
4-3	連続印刷	Page: 29-30

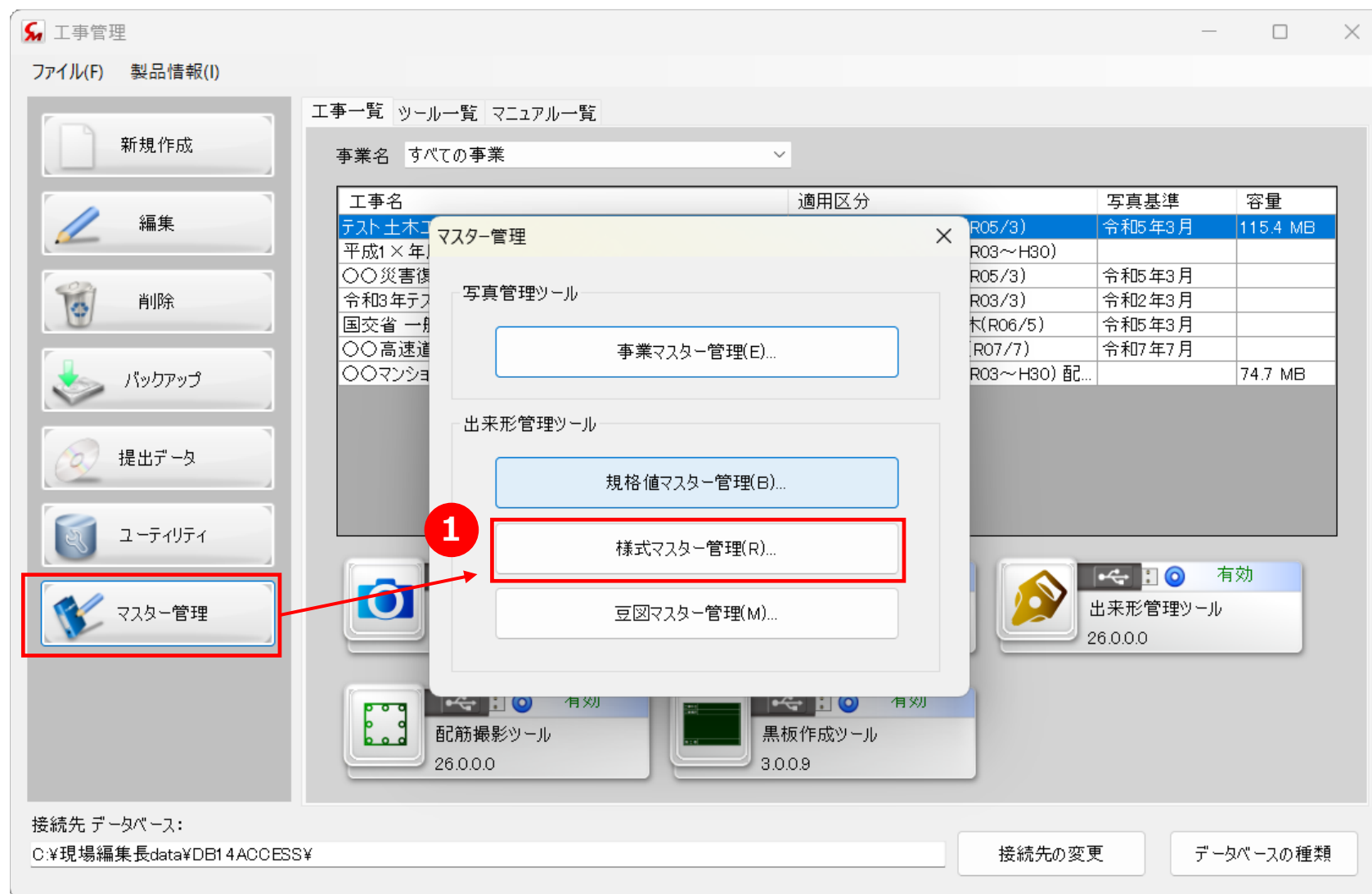




STEP1 帳票様式の登録

STEP1-1 様式マスターを開く

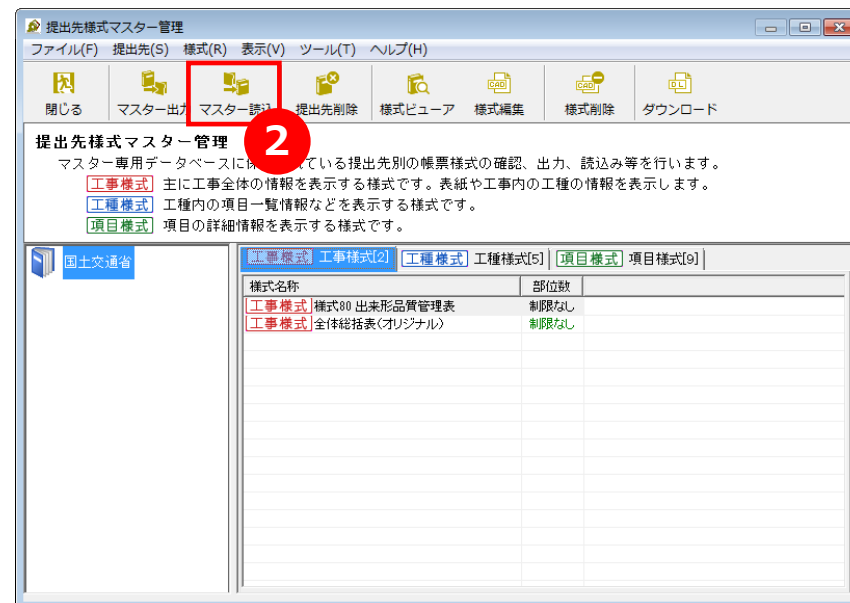
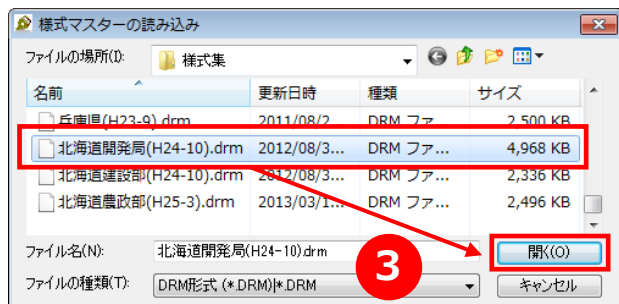
1. 工事管理画面 [マスター管理] から [様式マスター管理(R)] ボタンを押します。



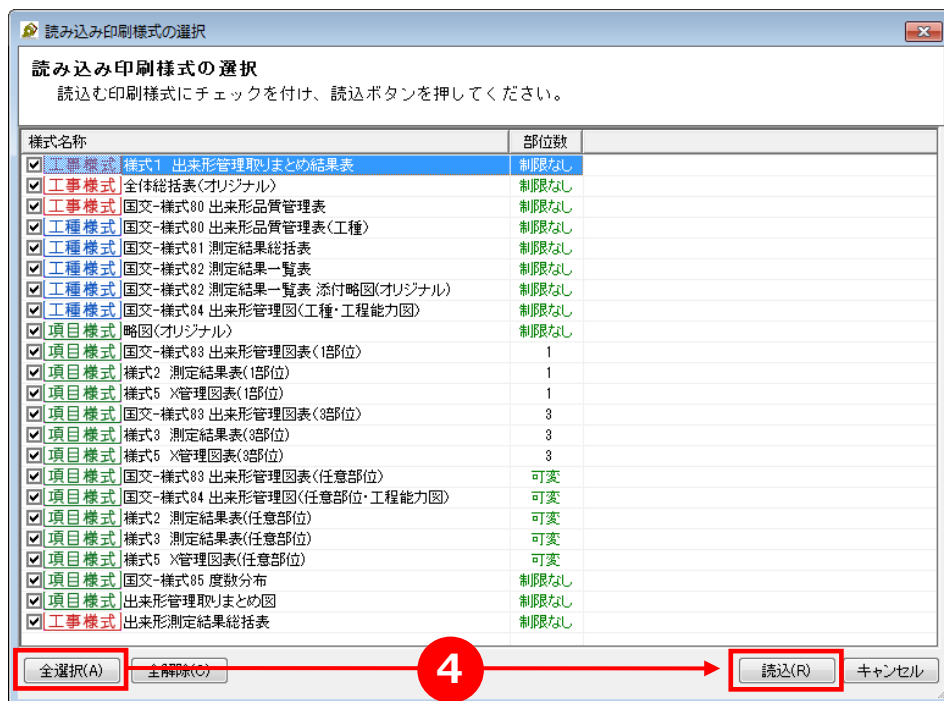


STEP1-2 帳票様式マスターの読込

2. [マスター管理] を選択します。
3. 使用する帳票様式を選択し [開く] ボタンを押します。



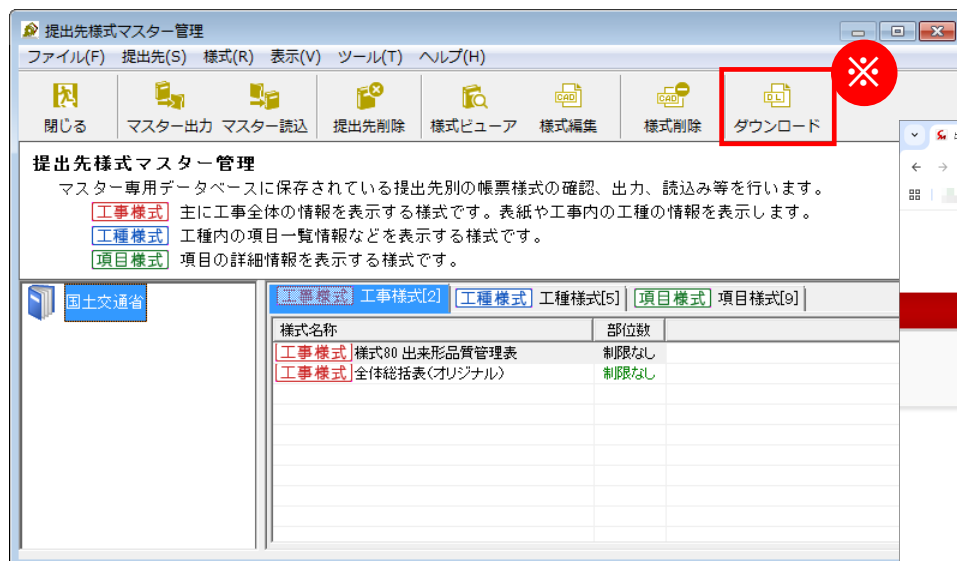
4. 様式選択画面で [全選択] ボタンを押し [読込] ボタンを押して様式を読み込みます。





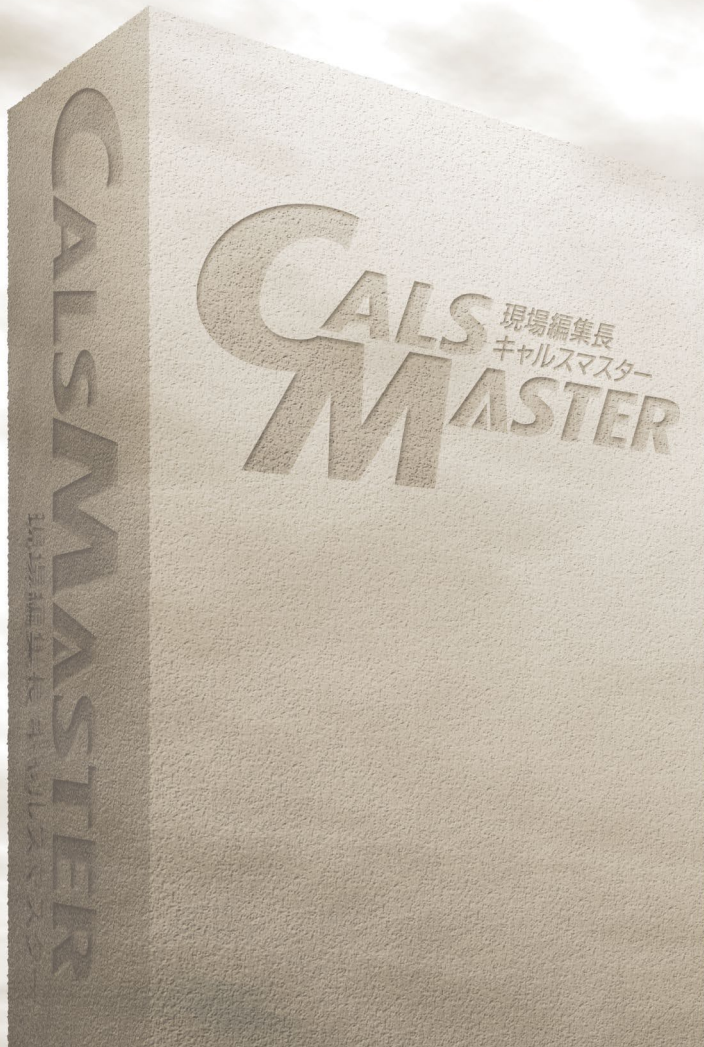
STEP1-3 帳票様式マスターのダウンロード

※ 使用したい帳票様式マスターが存在しないときは **[ダウンロード]** を選択し、「現場編集長CALSMaster」のダウンロードページよりダウンロードしてから **[マスター読込]** を行ってください。



ダウンロードの際にはご使用のパソコンがインターネットに接続されていることをご確認ください。
ダウンロードページには作成中の帳票様式マスター等の情報が掲載されています。
マスター読込の際はダウンロードデータから展開したDRMファイルの保存先フォルダを指定してから読み込んでください。

STEP2 工事・工種・項目の作成





STEP2-1 提出先の設定

1. 工事情報の編集画面を開き、**[出来形管理ツール提出先]** を予め設定します。
これは工事の新規作成時に提出先を設定していなくても工事管理画面の **[ファイル]** → **[工事情報]** で編集できます。

● 新規工事成作

新規工事

新規工事の作成
工事に適用する基準を適用区分のリストから選び、事業名称および工事名称を入力後、「OK」ボタンをクリックしてください。
CORINSデータを取り込む場合は、事業名称を入力(選択)後、「CORINSデータの取込」をクリックしてください。
配筋写真管理を行う場合は、「国土交通省-宮繕工事(R03~H30) 配筋連携」又は「国土交通省-宮繕工事(H24/3) 配筋連携」を選択してください。
※事業名称は工事の分類を行うための項目です。
提出に必要な項目ではありませんので、任意の内容を入力してください。

適用区分

- 国土交通省
 - 一般土木(R05/3)
 - 電気通信設備(R05/3)
 - 機械設備工事(R05/3)
 - 宮繕工事(R03~H30)
 - 宮繕工事(R03~H30) 配筋連携
- 国土交通省港湾局
 - 一般土木(R04/3)
- 農林水産省
 - 一般土木(H31/3)
 - 電気通信設備(H31/3)
 - 機械設備工事(H31/3)
- NEXCO
 - 工事記録写真(R07/7)
 - 工事記録写真(H29/7)
- 北海道開発局
 - 一般土木(R06/5)
 - 電気通信設備(R06/5)
 - 港湾土木(R03/5)
- 除染業務
 - 一般土木(H22/9)

適用基準
デジタル写真管理情報基準 令和5年3月版 国土交通省
工事完成図書の電子納品等要領 令和5年3月版 国土交通省
CAD製図基準 平成29年3月版 国土交通省

写真基準
令和5年3月

出来形管理ツール提出先
国土交通省

事業名称
土木工事

工事名称
テスト土木工事

CORINSデータの取込

OK キャンセル

● 工事情報編集

工事情報編集

工事の情報
工事情報を入力します。
編集時、右側に「」ボタンが表示されている場合はマスターから選択することができます。
また上下矢印キーを押すと前回の入力内容を表示することができます。

すべての項目を表示

写真基準
令和5年3月

出来形管理ツール提出先
国土交通省

● 工事情報(全体)

項目	内容
◎ 工事名称	テスト土木工事
◎ 発注年度	2016
◎ 工事番号	201611110123
◎ 工事実績システム登録番号	12345678K
◎ 工事分野	道路
◎ 工事業種	土木一式工事
◎ 工種1	路盤路床工事
◎ 工法型式1	路盤路床工
○ 工種2	
○ 工法型式2	
○ 工種3	

項目名: 工法型式3
必要度: 条件付必須記入
データ表現: 全角(英数字は半角のみ)
文字数: 127
記入例:

追加 削除

CORINSデータの取込

OK キャンセル

※ 提出先を設定しないと次頁以降の手順で**出来形管理ツール**を起動できません。
必ず設定してください。

STEP2-2 出来形管理ツールの起動

2. 工事管理画面から編集したい工事を選択し、[出来形管理ツール] ボタンを押して起動します。

工事管理

ファイル(F) 製品情報(I)

新規作成

編集

削除

バックアップ

提出データ

ユーティリティ

マスター管理

工事一覧 ツール一覧 マニュアル一覧

事業名 すべての事業

工事名	適用区分	写真基準	容量
テスト土木工事	国土交通省 一般土木(R05/3)	令和5年3月	115.4 MB
平成1×年度 電子納品工事	国土交通省 宮繕工事(R03~H30)		
〇〇災害復旧工事(その3)	国土交通省 一般土木(R05/3)	令和5年3月	
令和3年テスト	国土交通省 一般土木(R03/3)	令和2年3月	
国交省 一般土木R05	北海道開発局 一般土木(R06/5)	令和5年3月	
〇〇高速道路リニューアル工事	NEXCO 工事記録写真(R07/7)	令和7年7月	

2

写真管理ツール 26.0.0.0 有効

図書管理ツール 26.0.0.0 有効

出来形管理ツール 26.0.0.0 有効

配筋撮影ツール 26.0.0.0 有効

黒板作成ツール 3.0.0.9 有効

接続先 データベース:
C:\現場編集長\data\DB14ACCESS¥

接続先の変更

データベースの種類

3. 表紙となる帳票様式の内容を入力し **[OK]** ボタンを押します。

工事情報編集

工事情報編集を行います。
これらの情報は『総括表』等の出来形提出書類の表紙に記載されます。
※写真参照が可能な工事の工事名称を変更すると写真参照ができなくなります。
※提出先を変更すると設定済みの様式が全て初期化されます。

提出先	国土交通省
工事名称	テスト土木工事
工事番号	201611110123
施工年度	2016
路線水系名等	
工期開始日	
工期終了日	
工事事務所名	
出張所名	
請負者	
監督官名	
現場代理人	
主任技術者	
測定者名	

項目名: 提出先
データ表現: -
文字数: -
記入例: 国土交通省
概要: 提出先を変更すると既に設定済みの様式が初期化されます。
変更する場合はマウスクリックしコンボボックスから選択してください。

3

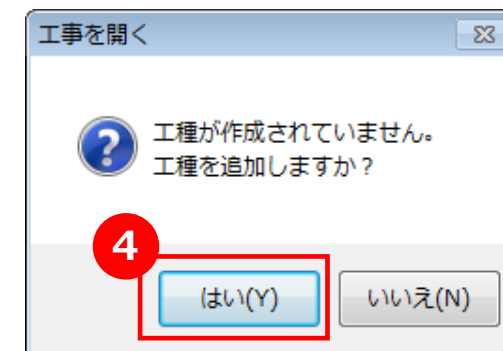
OK キャンセル

写真管理データ参照可能 (ローカル) [C:\現場編集長\data_cmv17\WB14ACCESS\WC0000020\]

※ 新規工事作成時に入力済みの工事情報は、この画面上で既に反映されています。ここでは出来形管理ツール特有の工事情報を編集します。

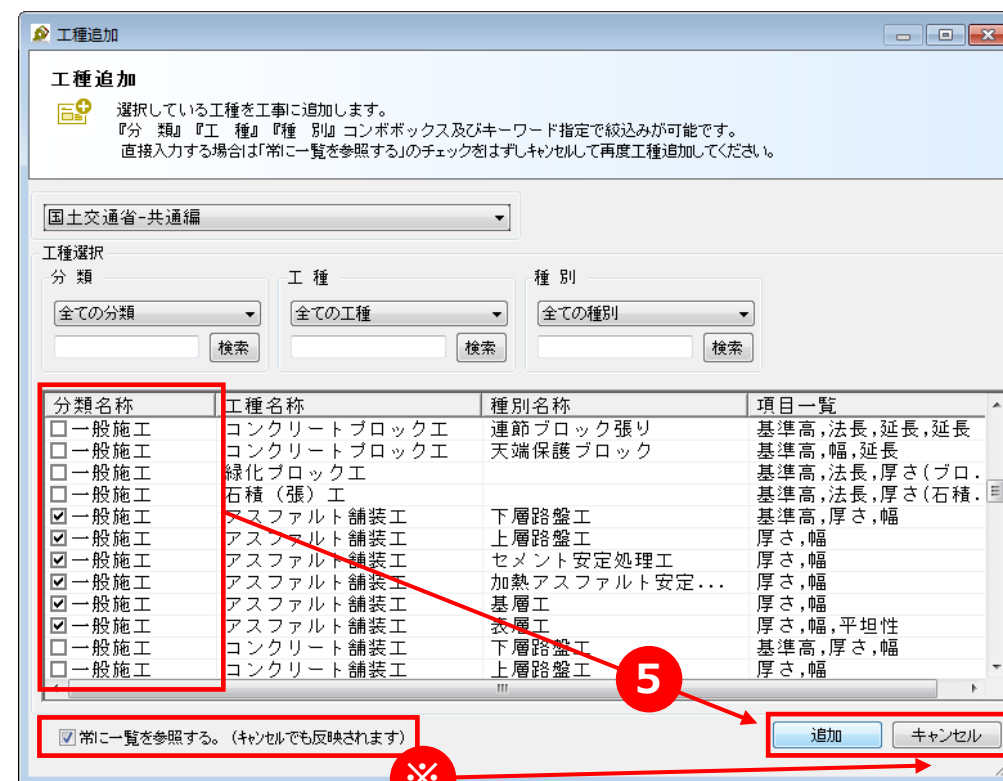
※ ここで入力しなくても **[ファイル(F)]** → **[工事情報]** で編集できます。

4. 工種作成の確認画面で **[はい(Y)]** ボタンを選択します。



5. 出来形管理を行う工種にチェックを入れて **[追加]** ボタンを押します。

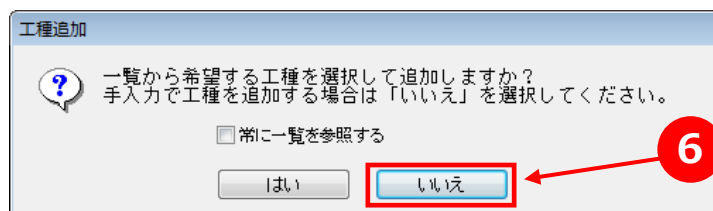
※ 一覧から選択せず、手入力で工種を作成したい場合は **[常に一覧を参照する]** のチェックを外して **[キャンセル]** ボタンを押し、11ページ「STEP2-3 工種の追加 (手入力での工種追加)」へお進みください。





STEP2-4 工種の追加 (手入力での工種追加)

6. [工種追加] ボタンを押し、表示されるダイアログで [いいえ] ボタンを選択します。
7. 工種追加画面で工種名称・種別名称を入力します。
8. 項目名称およびその他詳細情報を入力します。
9. 全ての情報を入力後、[作成] ボタンを押します。



出来形管理ツール データ管理画面

ファイル(F) 工種(S) 項目(K) 部位(B) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

工種追加

工種・種別の入力後、項目名称などを入力して工種データを作成して下さい。
※項目名称が未入力の項目データは無視されます。

項目		入力単位(設計・実測)		規格・社内単位(差)		規格値		社内値	
項目名称	記号	名称	整数桁	小数桁	名称	整数桁	小数桁	下限値	上限値
		mm	7	0	mm	7	0		

入力:mm 整数 桁数:7 小数 桁数:0 +9999999 規格:mm 整数 桁数:7 小数 桁数:0 +9999999

作成 キャンセル

※ 項目が1つ以上無ければ工種を作成することができません。必ず1つ以上項目名称を入力してください。

※ 工種・種別名称や項目名称（その他詳細情報）は入力画面より変更可能です。



STEP2-5 帳票様式の選択

10. [工事名称] を選択し、使用する [帳票様式名称] にチェックを入れます。(工事レベル帳票)
11. [工種名称] を選択し、使用する [帳票様式名称] にチェックを入れます。(工種レベル帳票)
12. [項目名称] を選択し、使用する [帳票様式名称] にチェックを入れます。(項目レベル帳票)

Figure 1: Selection of Bill of Materials (BOM) Style (Project Level)

Figure 2: Selection of Bill of Materials (BOM) Style (Work Type Level)

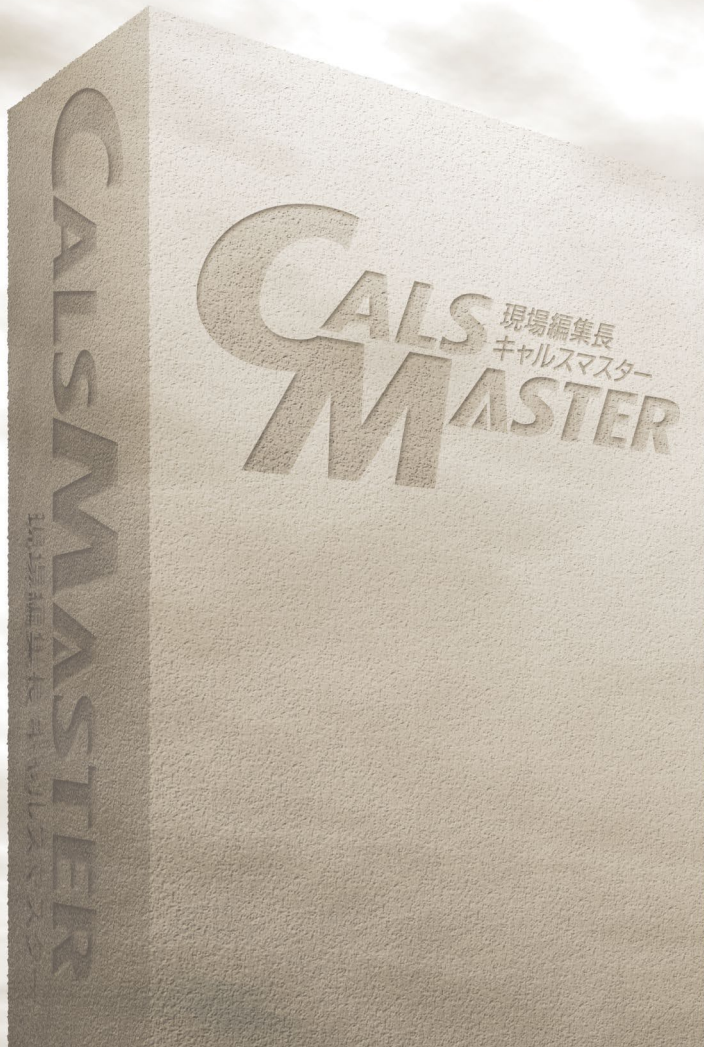
Figure 3: Selection of Bill of Materials (BOM) Style (Item Level)

※ 提出先によっては工種レベルの帳票様式が無い場合があります。

※ 同一項目名称で「1項目 / 3項目」が選べる様式があります。

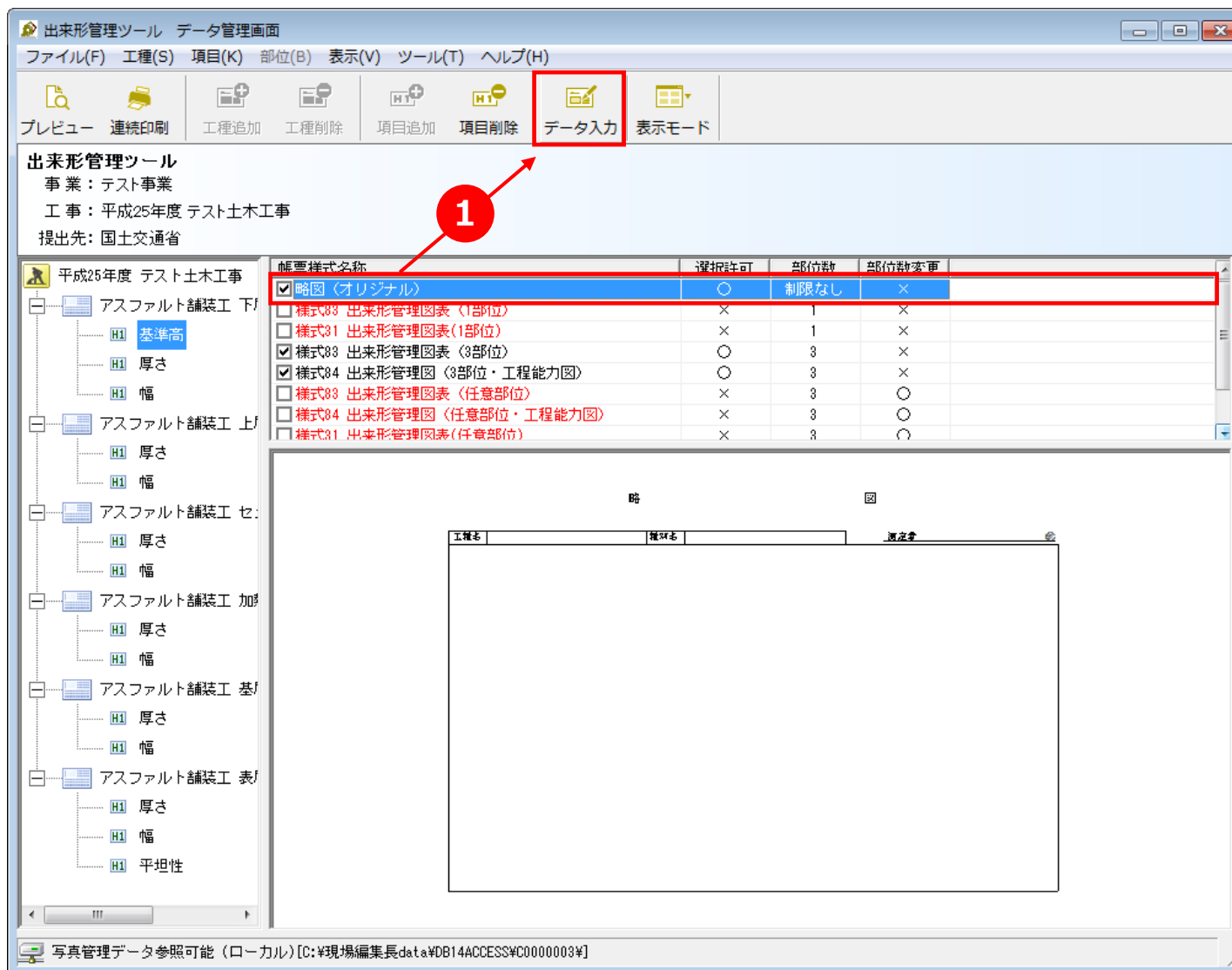
3項目とは、同一規格値において測定箇所が「L・C・R」や「W1・W2・W3」と複数ある場合に使用すると便利です。

STEP3 データ入力



STEP3-1 データ入力画面

1. データ入力する項目を選択し、**[データ入力]** ボタンを押します。



※ 項目名称をダブルクリックした場合は**印刷プレビュー**画面が出ます。仕上がりの確認にご使用ください。



STEP3-2 項目情報

2. 項目情報を入力します。

平成25年度 テスト土木工事 - 出来形管理ツール データ入力画面

ファイル(F) 編集(E) 豆図(M) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

プレビュー 印刷装飾 閉じる 豆図選択 豆図編集 豆図登録 豆図削除 単位設定 測点作成 測点読込 縦断計算 横断計算 写真管理 写真確認

項目名称: 測定者名称:

工種名称:

種別名称:

備考:

2

差判定

☒ 規格値
☐ 社内値
☐ 目標値

差計算

☒ 実測-設計
☐ 設計-実測(下り)

	下限値	上限値	印刷表示
規格値	<input type="text"/>	~ <input type="text"/> mm	<input type="text"/>
社内値	<input type="text"/>	~ <input type="text"/> mm	<input type="text"/>
目標値	<input type="text"/>	~ <input type="text"/> mm	<input type="text"/>
仮想値	<input type="text"/>	~ <input type="text"/> mm	<input type="text"/>

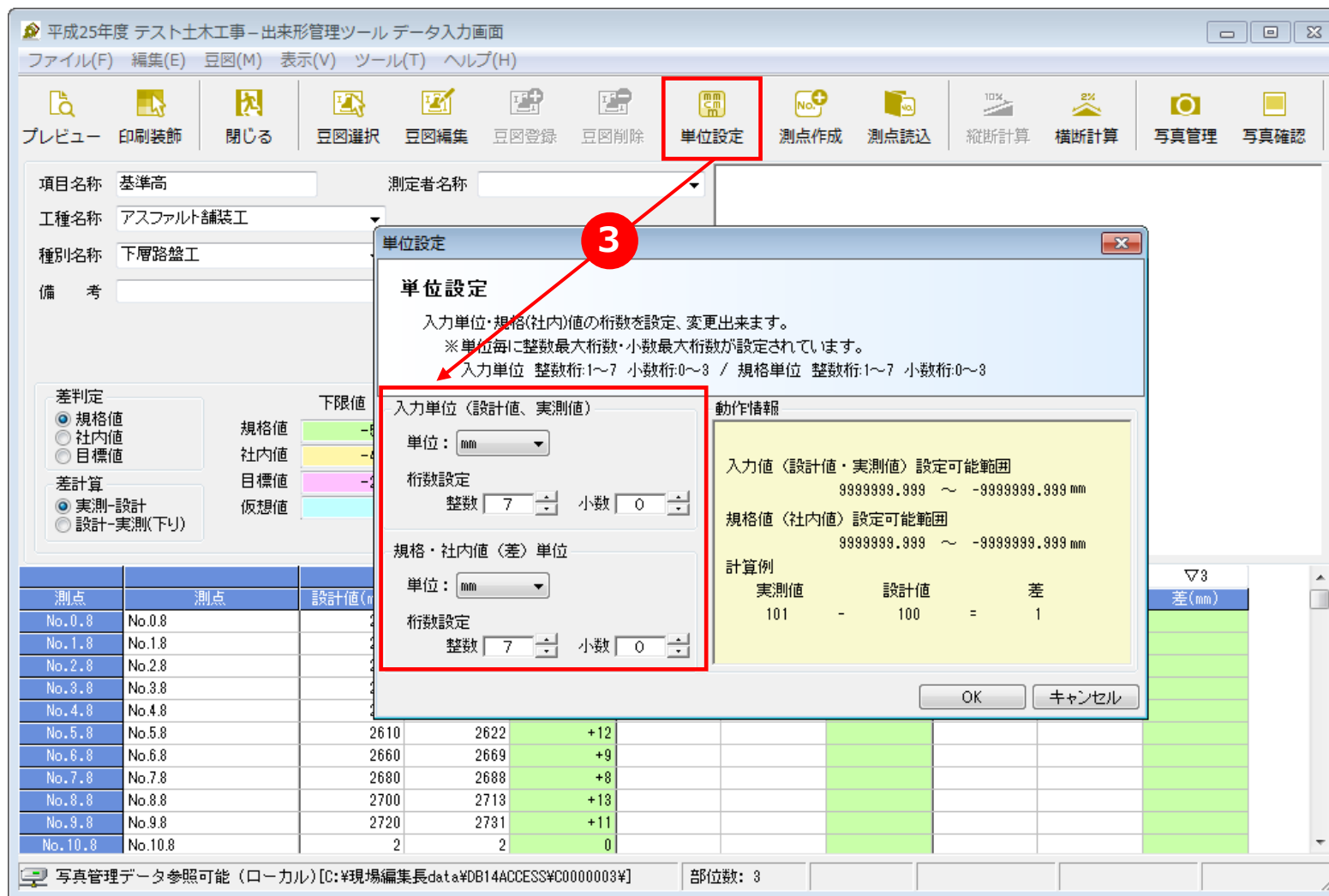
豆図表示用

		基準高			基準高2			基準高3		
測点	測点	設計値(mm)	実測値(mm)	差(mm)	設計値(mm)	実測値(mm)	差(mm)	設計値(mm)	実測値(mm)	差(mm)

写真管理データ参照可能 (ローカル) [C:\現場編集長\data\DB14ACCESS\%C0000003%] 部位数: 3

※ 提出先によって情報入力欄が増えることがありますので、必要に応じて入力してください。
それぞれの情報は印刷プレビューを目視確認し、どの部分に表示されるかを確認しておくとう作業がスムーズになります。

3. [単位設定] を選択し、「入力単位」「規格・社内値(差)単位」を設定して [OK] ボタンを押します。



※ 「入力単位」「規格・社内値(差)単位」ごとに単位を設定できます。

例) 設計実測値は「cm」、差は「mm」など

4. 測点を入力します。

測点の入力は「**直接入力**」「**一括作成**」「**測点読込**」の3種の方法があります。

平成25年度 テスト土木工事－出来形管理ツール データ入力画面

ファイル(F) 編集(E) 豆図(M) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

プレビュー 4 別装飾 閉じる 豆図選択 豆図編集 豆図登録 豆図削除 単位設定 測点作成 測点読み込み 縦断計算 横断計算 写真管理 写真確認

項目名称 基準高 測定者名称

工種名称 アスファルト舗装工

種別名称 下層路盤工

備考

差判定
☒ 規格値
☐ 社内値
☐ 目標値
差計算
☒ 実測-設計
☐ 設計-実測(下り)

下限値
規格値
社内値
目標値
仮想値

測点 一括作成

測点の一括作成を行います。

測点 設定項目
始点 +0.8
終点 +20.0
ピッチ 1.0 毎
詳細設定
測点小数桁数 1 桁
添付文字 No.

作成される測点プレビュー

	測点
1	No.0.8
2	No.1.8
3	No.2.8
4	No.3.8
5	No.4.8
6	No.5.8
7	No.6.8
8	No.7.8
9	No.8.8
10	No.9.8
11	No.10.8

☒ 同じ測点は作成しない。
☒ 作成後に測点で並べ替える。

OK キャンセル

豆図表示用

測点	測点	設計値(mm)	基準高	▽
計値(mm)	実測値(mm)	差(mm)		
No.0.8	No.0.8			
No.1.8	No.1.8			
No.2.8	No.2.8			
No.3.8	No.3.8			
No.4.8	No.4.8			
No.5.8	No.5.8			
No.6.8	No.6.8			
No.7.8	No.7.8			
No.8.8	No.8.8			
No.9.8	No.9.8			
No.10.8	No.10.8			

直接入力欄

写真管理データ参照可能 (ローカル) [C:\現場編集長\data\DB14ACCESS*C0000003*] 部位数: 3

※ データ入力欄は右クリックによる切り取り・コピー・貼り付けや行の挿入・削除が行えます。

「測点読込」は他の工種・項目から測点情報のみを読み込みます。

[ツール] → [オプション設定] にて、Enter後のセルの移動方向（下 / 右）を設定できます。

STEP3-5 設計値の入力

5. 設計値を入力します。

（「縦断計算」「横断計算」機能を搭載しています。詳しくは工事管理画面のマニュアル一覧タブより「取扱説明書」をご覧ください。

平成25年度 テスト土木工事-出来形管理ツール データ入力画面

ファイル(F) 編集(E) 豆図(M) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

プレビュー 印刷装飾 閉じる 豆図選択 豆図編集 豆図登録 豆図削除 単位設定 測点作成 測点読込 縦断計算 横断計算 写真管理 写真確認

項目名称 基準高 測定者名称
工種名称 アスファルト舗装工
種別名称 下層路盤工
備考

差判定
☒ 規格値
☐ 社内値
☐ 目標値
 差計算
☒ 実測-設計
☐ 設計-実測(下り)

下限値 上限値
 規格値 ~
 社内値 ~
 目標値 ~
 仮想値 ~

測点	測点	設計値(mm)	実測値(m)	基準高
No.0.8	No.0.8	2360		
No.1.8	No.1.8	2410		
No.2.8	No.2.8	2460		
No.3.8	No.3.8	2510		
No.4.8	No.4.8	2560		
No.5.8	No.5.8	2610		
No.6.8	No.6.8	2660		
No.7.8	No.7.8	2680		
No.8.8	No.8.8	2700		
No.9.8	No.9.8	2720		
No.10.8	No.10.8			

高さ計算-縦断

高さ計算-縦断
縦断方向での設計値を計算します。
開始測点に高さを入れ、単距離・勾配(%)を入力して下さい。
入力単位は『m』です。

測定項目 基準高
測定記号 ▾

測点	基準高 設計(m)	単距離 設計(m)	勾配 設計(%)
1 No.0.8	2.360		
2 No.1.8	2.410		
3 No.2.8	2.460		
4 No.3.8	2.510		
5 No.4.8	2.560		
6 No.5.8	2.610		
7 No.6.8	2.660		
8 No.7.8	2.680		
9 No.8.8	2.700		
10 No.9.8	2.720		
11 No.10.8			
12 No.11.8			
13 No.12.8			

OK キャンセル

写真管理データ参照可能 (ローカル) [C:*現場編集長\data*DB14ACCESS*C0000003*] 部位数: 3 単位: mm 整数桁数: 7 小数桁数: 0 入力例: 999999

※ 直接入力欄は右クリックによるコピー・貼り付け等が行えます。

[ツール] → [オプション設定] にて、Enter後のセルの移動方向（下 / 右）を設定できます。



STEP3-6 実測値の入力 (出来形管理ツール単独の入力)

6. 実測値を入力します。

また、実測値をExcelで管理している場合は、それをコピーして右クリックメニューから貼り付けることも可能です。

The screenshot shows the 'データ入力画面' (Data Input Screen) of the CALS MASTER software. The interface includes a menu bar (ファイル(F), 編集(E), 豆図(M), 表示(V), ツール(T), ヘルプ(H)), a toolbar with icons for preview, printing, closing, and various calculation functions, and a main data entry area. The main area is divided into a left sidebar for project information and a large central table for data entry.

Project Information:

- 項目名称: 基準高
- 測定者名称: [Dropdown]
- 工種名称: アスファルト舗装工
- 種別名称: 下層路盤工
- 備考: [Text Field]

Calculation Settings:

- 差判定: ☒ 規格値, ☐ 社内値, ☐ 目標値
- 差計算: ☒ 実測-設計, ☐ 設計-実測(下り)
- 下限値: 規格値 [Green], 社内値 [Yellow], 目標値 [Pink], 仮想値 [Cyan]
- 上限値: [Green], [Yellow], [Pink], [Cyan]
- 印刷表示: [Green], [Yellow], [Pink], [Cyan]

Main Data Table:

測点		基準高1			基準高2			基準高3		
		設計値 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)	設計値 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)	設計値 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)
No.1.8	No.1.8	2410	2420	+10						
No.2.8	No.2.8	2460	2470	+10						
No.3.8	No.3.8	2510	2520	+10						
No.4.8	No.4.8	2560	2571	+11						
No.5.8	No.5.8	2610	2622	+12						
No.6.8	No.6.8		2669	+9						
No.7.8	No.7.8		2688	+8						
No.8.8	No.8.8	2700	2713	+13						
No.9.8	No.9.8	2720	2731	+11						
No.10.8	No.10.8									
No.11.8	No.11.8									

A red box highlights the '実測値 (mm)' column in the table, with a red circle containing the number '6' and a red label '直接入力欄' (Direct Input Column) pointing to it.

Status Bar:

- 写真管理データ参照可能 (ローカル) [C:\現場編集長\data\B14ACCESS\WC0000003\]
- 部位数: 3
- 単位: mm
- 整数桁数: 7
- 小数桁数: 0
- 入力例: 9999999

※ 差を入力すると実測値が自動計算されます。

※ [ツール] → [差のシミュレーション] 機能によりシミュレーションを行なうことができます。

STEP3-6 実測値の入力 (写真管理ツール連携 ①)

7. [写真管理] ボタンを押すと、写真管理ツールで登録した写真の施工管理値とやり取りができます。

平成25年度 テスト土木工事 - 出来形管理ツール データ入力画面

ファイル(F) 編集(E) 豆図(M) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

プレビュー 印刷装飾 閉じる 豆図選択 豆図編集 豆図登録 豆図削除 単位設定 測点作成 測点読込 縦断計算 横断計算 **写真管理** 写真確認

7

項目名称 基準高 測定者名称

工種名称 アスファルト舗装工

種別名称 下層路盤工

備考

差判定
☒ 規格値
☐ 社内値
☐ 目標値

差計算
☒ 実測-設計
☐ 設計-実測(下り)

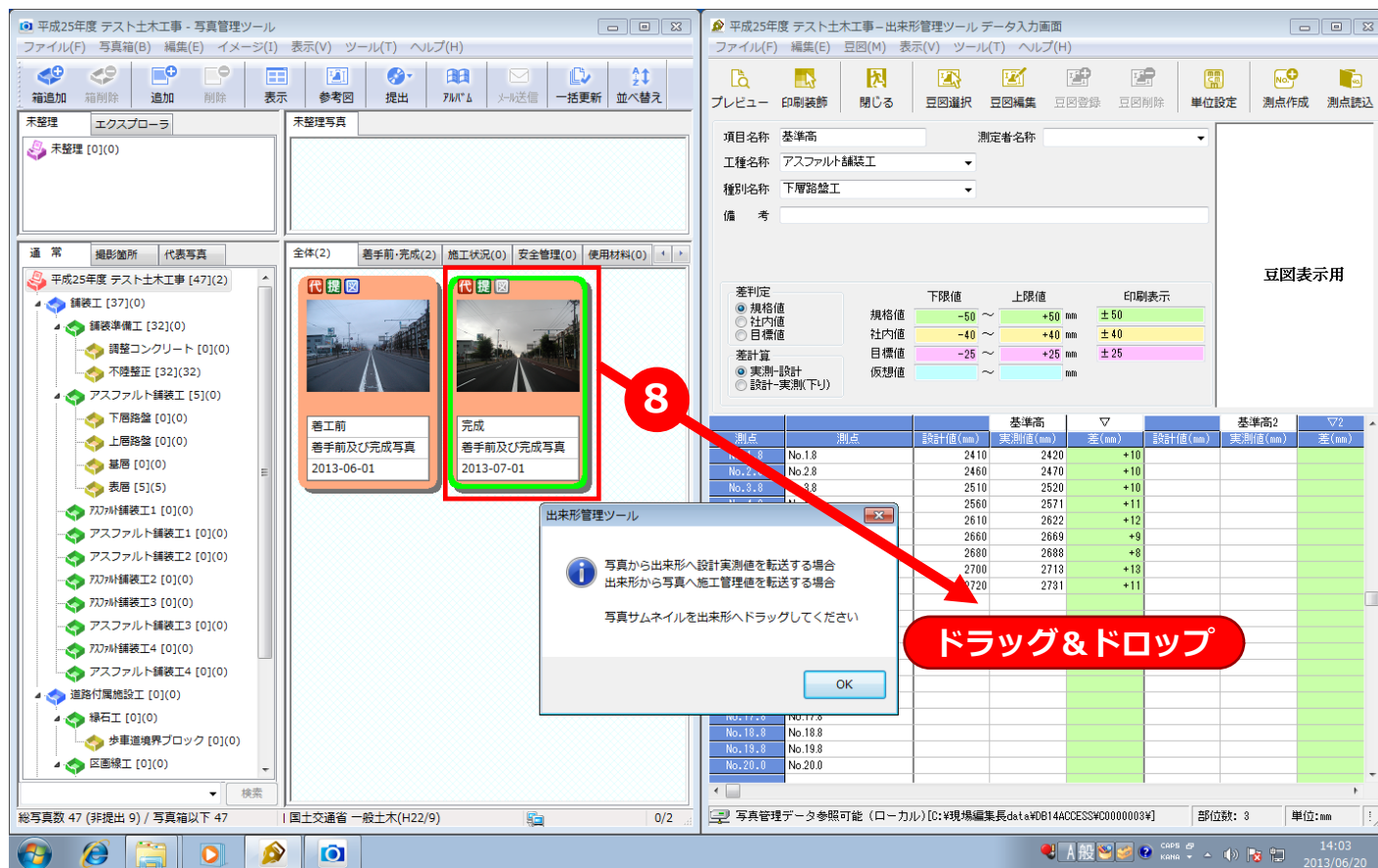
下限値	上限値	印刷表示
規格値 -50 ~ +50 mm		± 50
社内値 -40 ~ +40 mm		± 40
目標値 -25 ~ +25 mm		± 25
仮想値 ~ mm		

豆図表示用

測点		基準高			基準高2			基準高3		
測点	測点	設計値(mm)	実測値(mm)	差(mm)	設計値(mm)	実測値(mm)	差(mm)	設計値(mm)	実測値(mm)	差(mm)
No.1.8	No.1.8	2410	2420	+10						
No.2.8	No.2.8	2460	2470	+10						
No.3.8	No.3.8	2510	2520	+10						
No.4.8	No.4.8	2560	2571	+11						
No.5.8	No.5.8	2610	2622	+12						
No.6.8	No.6.8	2660	2669	+9						
No.7.8	No.7.8	2680	2688	+8						
No.8.8	No.8.8	2700	2713	+13						
No.9.8	No.9.8	2720	2731	+11						
No.10.8	No.10.8									
No.11.8	No.11.8									

写真管理データ参照可能 (ローカル) [C:\現場編集長\data\#DB14ACCESS\#C0000003\#] 部位数: 3 単位:mm 整数桁数:7 小数桁数:0 入力例:9999999

8. 写真管理ツールが自動起動します。写真箱を開き、写真サムネイルを出来形管理ツールヘドラッグ&ドロップします。



- ※ 写真から出来形へ設計実測値を転送する場合や、出来形から写真へ施工管理値を転送する場合は、写真管理ツールの写真サムネイルをドラッグ&ドロップしてください。このとき、複数の写真を一度にドラッグすることも可能です。
- ※ 施工管理値へのデータ転送は必須ではありません。必要なときに適宜行ってください。

施工管理値の転送


ドラッグ写真の施工管理値転送

ドラッグされた写真の施工管理値を転送します。 単位変換は行われません。ご注意ください。

転送する写真管理のセルと出来形管理のセルをマウス・クリックで選択し、転送ボタンを押してください。
データを転送すると「写真管理の写真」と「出来形管理の測点・項目毎の数値」がリンクされます。

転送したい写真を変更する場合は、再度、写真管理(施工管理値)フレームへ写真をドラッグしてください。

写真管理(施工管理値)



項目	内容
撮影箇所	撮影箇所:エラー
撮影日付	YYYYMMDD

No	測定項目	記号	設計	実測	単位
1	基準高	▽	2360	2374	mm
2					
3					
4					
5					

出来形管理

測点	測点	基準高	▽
		設計値(mm)	実測値(mm)
No.0.8	No.0.8	2360	2374
No.1.8	No.1.8	2410	2420
No.2.8	No.2.8	2460	2470
No.3.8	No.3.8	2510	2520
No.4.8	No.4.8	2560	2571
No.5.8	No.5.8	2610	2622
No.6.8	No.6.8	2660	2669
No.7.8	No.7.8	2680	2688
No.8.8	No.8.8	2700	2713
No.9.8	No.9.8	2720	2731
No.10.8	No.10.8		
No.11.8	No.11.8		
No.12.8	No.12.8		
No.13.8	No.13.8		
No.14.8	No.14.8		
No.15.8	No.15.8		
No.16.8	No.16.8		
No.17.8	No.17.8		
No.18.8	No.18.8		
No.19.8	No.19.8		
No.20.0	No.20.0		

写真送りに連動したセル移動 ☒ 無 ☐ 右 ☐ 下 (1列,1行)

出来形管理から転送 1行削除 消去 再読み込み

写真管理から転送 1行削除 消去 再読み込み

OK キャンセル

9. 施工管理値セルを選択します。
10. 出来形の設計値・実測値セルを選択します。
11. [出来形管理 / 写真管理から転送] を選択します。
12. 転送終了後に [OK] ボタンを押して操作は完了です。

※ [OK] を選択すると実際にデータの転送が行われ、写真とのリンク情報や施工管理値が保存・反映されます。

※ このとき [キャンセル] を選択した場合は転送されずにデータ入力画面に戻ります。

※ 施工管理値の転送では単位の変換は行われません。
写真管理ツール側の施工管理値情報・単位と出来形管理ツール側の単位は同一にして数値を設定してください。

※ 複数の写真をドラッグ＆ドロップした場合は、矢印ボタンがアクティブとなって他の写真への切替ができます。

13. [写真確認] ボタンからリンク写真と施工管理値を確認することができます。

平成25年度 テスト土木工事 - 出来形管理ツール データ入力画面

ファイル(F) 編集(E) 豆図(M) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

プレビュー 印刷装飾 閉じる 豆図選択 豆図編集 豆図登録 豆図削除 単位設定 測点作成 測点読込 縦断計算 横断計算 写真管理 **写真確認**

項目名称 基準高
工種名称 アスファルト舗装工
種別名称 下層路盤工
備考

差判定
☒ 規格値
☐ 社内値
☐ 目標値
 規格値 社内値 目標値
 差計算
☒ 実測-設計
☐ 設計-実測(下り)
 実測値 仮想値

測点	測点
No.1.8	No.1.8
No.2.8	No.2.8
No.3.8	No.3.8
No.4.8	No.4.8
No.5.8	No.5.8
No.6.8	No.6.8
No.7.8	No.7.8
No.8.8	No.8.8
No.9.8	No.9.8
No.10.8	No.10.8
No.11.8	No.11.8

ドラッグ写真の施工管理値転送

ドラッグされた写真の施工管理値を転送します。
 転送する写真管理のセルと出来形管理のセルをマウス・クリックで選択し、転送ボタンを押してください。
 データを転送すると「写真管理の写真」と「出来形管理の測点・項目毎の数値」がリンクされます。
 転送したい写真を変更する場合は、再度、写真管理(施工管理値)フレームへ写真をドラッグしてください。

単位変換は行われません。ご注意ください。

写真管理(施工管理値)

出来形管理

測点	測点	基準高	▽
		設計値(mm)	実測値(mm)
No.0.8	No.0.8	2360	2374
No.1.8	No.1.8	2410	2420
No.2.8	No.2.8	2460	2470
No.3.8	No.3.8	2510	2520
No.4.8	No.4.8	2560	2571
No.5.8	No.5.8	2610	2622
No.6.8	No.6.8	2660	2669
No.7.8	No.7.8	2680	2688
No.8.8	No.8.8	2700	2713
No.9.8	No.9.8	2720	2731
No.10.8	No.10.8		
No.11.8	No.11.8		
No.12.8	No.12.8		
No.13.8	No.13.8		
No.14.8	No.14.8		
No.15.8	No.15.8		
No.16.8	No.16.8		
No.17.8	No.17.8		
No.18.8	No.18.8		
No.19.8	No.19.8		
No.20.0	No.20.0		

写真管理(施工管理値)

項目	内容
撮影箇所	撮影箇所エラー
撮影日付	YYYYMMDD

No	測定項目	記号	設計	実測	単位
1	基準高	▽	2360	2374	mm
2					
3					
4					
5					

出来形管理から転送 1行削除 消去 再読込

写真管理から転送 1行削除 消去 再読込

OK キャンセル

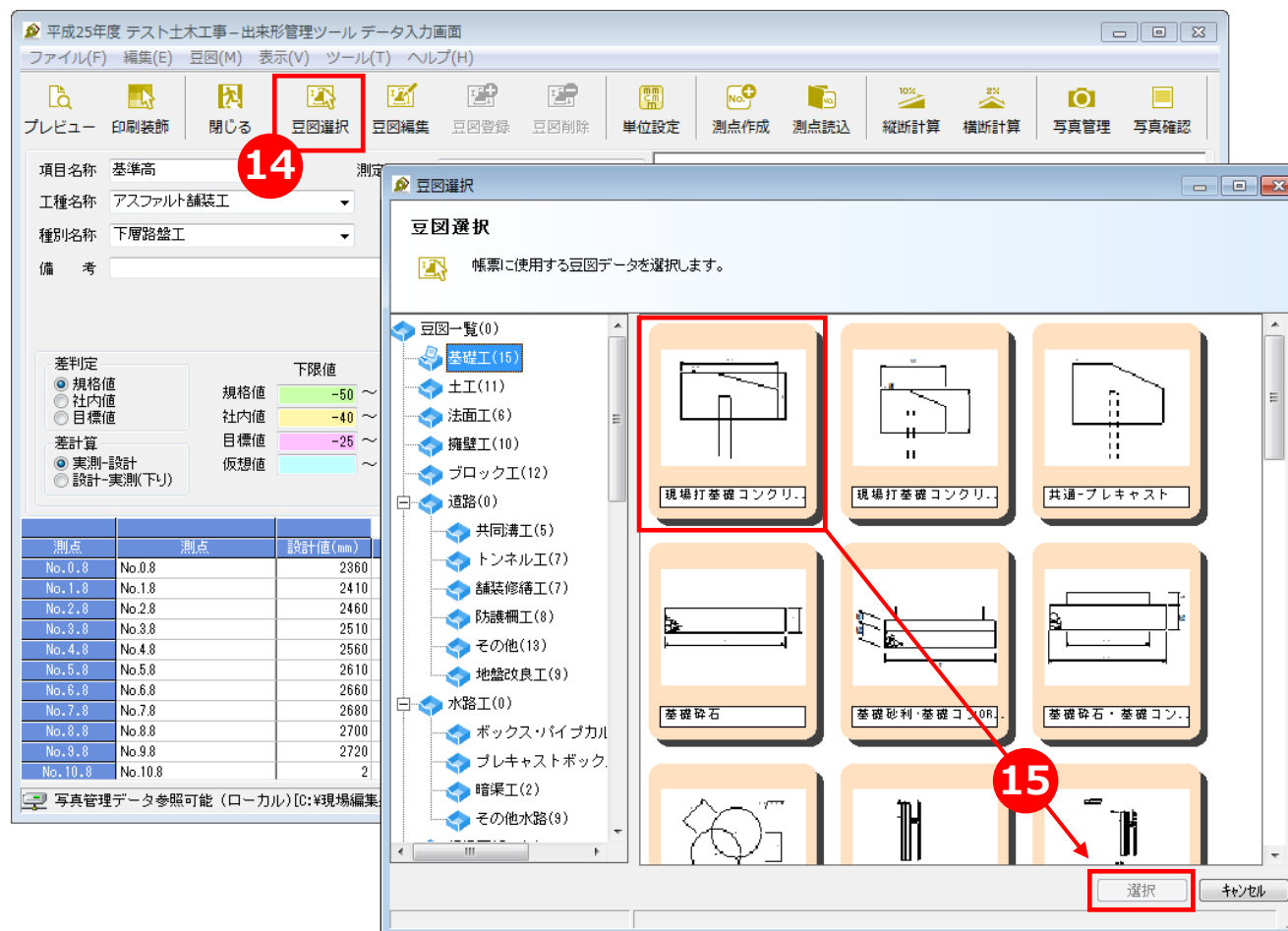
写真送り運動したセル移動 ☒ 無 ☐ 右 ☐ 下 (1列1行)

写真管理データ参照可能 (ローカル) [C:*現場編集長\data\B14ACCESS*C0000003*] 部位数: 3 単位: mm 整数桁数: 7 小数桁数: 0 入力例: 999999

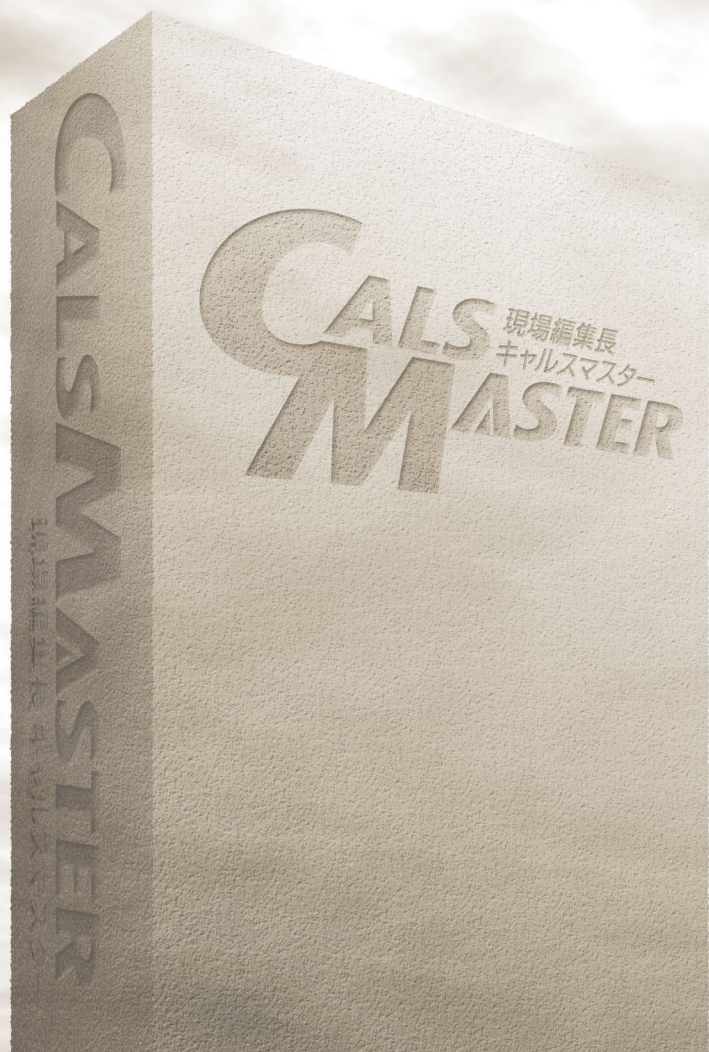
※ この操作は必須ではありません。

14. **[豆図選択]** します。

15. 使用する豆図サムネイルを選んで **[選択]** ボタンを押します。



※ 新しい豆図を登録する場合は、「データ管理画面」より **[豆図一覧]** を選択し、**[豆図作成]**・**[豆図読込]** を行ってください。DXF(R12)形式の図面ファイルを読み込むことができます。



STEP4 印刷

1. [印刷装飾] ボタンを押します。
2. 設定を行うタブをクリックして各種設定を行います。

平成25年度 テスト土木工事-出来形管理ツール データ入力画面

ファイル(F) 編集(E) 豆図(M) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

プレビュー 印刷装飾 閉じる 豆図選択 豆図編集 豆図登録 豆図削除 単位設定 測点作成 測点読込 縦断計算 横断計算 写真管理 写真確認

項目: 標準高
工種名称: アスファルト舗装工
種別名称: 下層路盤工
備考:

差判定: 規格値, 社内値, 目標値, 実測-設計, 設計-実測(下り)

規格値: 社内値, 目標値, 仮想値

測点: No.0.8, No.1.8, No.2.8, No.3.8, No.4.8, No.5.8, No.6.8, No.7.8, No.8.8, No.9.8, No.10.8

印刷装飾

項目・印刷装飾設定

印刷に関する各種装飾設定を行います。

データ: 数値データの表示文字を設定します。
X管理図: 折れ線の色、マーカーの種類などを設定します。
度数分布: 分布幅などを設定します。
豆図: 豆図の描画サイズを設定します。

設定対象: 全体: 全様式に設定, 個別: 測定項目毎に設定

データ X管理図 度数分布 豆図

方眼: 種類: 標準(表示), なし, 線色: [Color]

Y軸間隔(個数): 種類: 自動, 最大: 70, 最小: -70, 間隔: 5, 詳細設定...

凡例位置: 左上, 右上, 上端, 線上, 左下, 右下, 下端, なし

その他: 背景を透明にする, 数値を表示する, 補助線設定...

No	設定項目名	対象	出力	凡例	線色	線詳細
1	部位名(基準高-▽)	個別	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	—
2	部位名(基準高2-▽2)	個別	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	オレンジ	○
3	部位名(基準高3-▽3)	個別	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	赤	○
4	規格値上限	全体	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	緑	—
5	規格値下限	全体	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	青	—
6	社内値上限	全体	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	紫	—
7	社内値下限	全体	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	黒	—

OK キャンセル

線とマーク

線: 線太さ: 細線, 中線, 太線, 線種: 実線, 鎖線, 点線, 1点鎖線, 2点鎖線

マーク種類: 無し, 各種マーク

線色: [Color]

プレビュー: [Preview]

OK キャンセル

色の設定

基本色(B): [Color Palette]

作成した色(C): [Color Palette]

色の作成(D) >>

OK キャンセル

※ 印刷装飾設定はプレビュー画面からも行うことができます。

3. データ入力画面の[プレビュー] ボタンから印刷プレビュー画面を表示します。
4. 印刷したい帳票様式をタブから選択します。
5. [印刷] ボタンを押し、プリンターの設定を行って印刷します。

3 プレビュー

4 印刷

5 様式03 出来形管理図表 (3部位)

出来形管理図表

工種 アスファルト舗装工

種別 下層路盤工

測定者

測点	測点	設計値 (mm)
No. 1.8	No. 1.8	2410
No. 2.8	No. 2.8	2460
No. 3.8	No. 3.8	2510
No. 4.8	No. 4.8	2560
No. 5.8	No. 5.8	2610
No. 6.8	No. 6.8	2660
No. 7.8	No. 7.8	2680
No. 8.8	No. 8.8	2700
No. 9.8	No. 9.8	2720
No. 10.8	No. 10.8	
No. 11.8	No. 11.8	

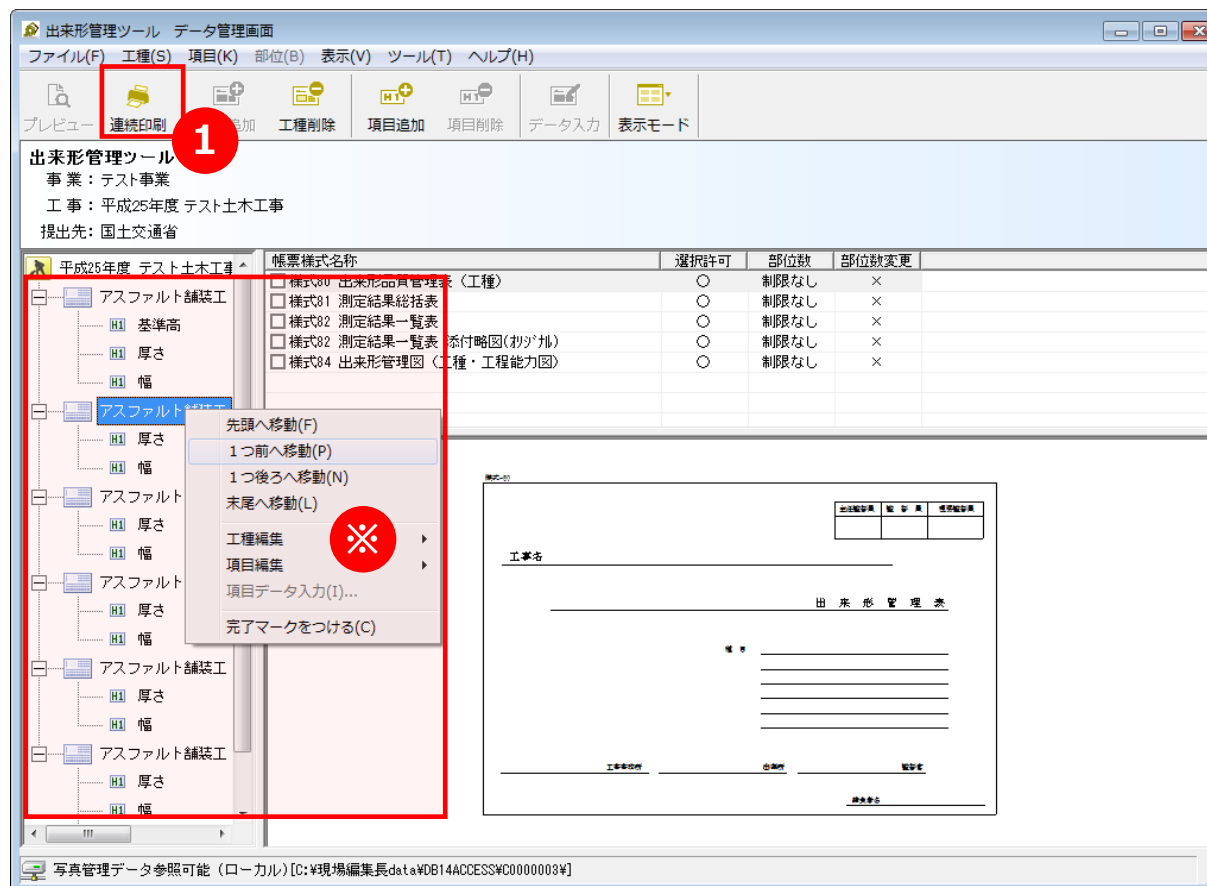
測定項目	基準高	測定項目	基準高	測定項目	基準高	測定項目	基準高
規格値	±50 (±40)	規格値	±50 (±40)	規格値	±50 (±40)	規格値	±50 (±40)
区別	設計値mm実測値mm 差mm	測点	設計値mm実測値mm 差mm	測点	設計値mm実測値mm 差mm	測点	設計値mm実測値mm 差mm
平均値	2334 2344 9.82	No. 0.8	2360 2374 14	No. 0.8		No. 0.8	
最大値	2720 2731 14	No. 1.8	2410 2420 10	No. 1.8		No. 1.8	
最小値	2 2 0	No. 2.8	2460 2470 10	No. 2.8		No. 2.8	
最多値	2360 2374 10	No. 3.8	2560 2571 11	No. 3.8		No. 3.8	
データ数	11 11 11	No. 4.8	2571 2582 11	No. 4.8		No. 4.8	
標準偏差	±149.308 ±149.376 ±3.511	No. 5.8	2610 2622 12	No. 5.8		No. 5.8	
		No. 6.8	2660 2669 9	No. 6.8		No. 6.8	
		No. 7.8	2680 2688 8	No. 7.8		No. 7.8	
		No. 8.8	2700 2713 13	No. 8.8		No. 8.8	
		No. 9.8	2720 2731 11	No. 9.8		No. 9.8	

提出先: 国土交通省 帳票名称: 基準高 1 / 3 ページ

※ 工事・工種レベルの帳票様式の印刷はデータ管理画面より行います。

[連続印刷] 機能を利用すると全ての帳票様式を一括で印刷することができます。

1. [連続印刷] を押します。



※ 連続印刷時の印刷順は「工種・項目ツリー」並び方になります。

変更したい場合は項目を直接ドラッグするか、右クリックメニューの[移動]で順序を入れ替えてください。

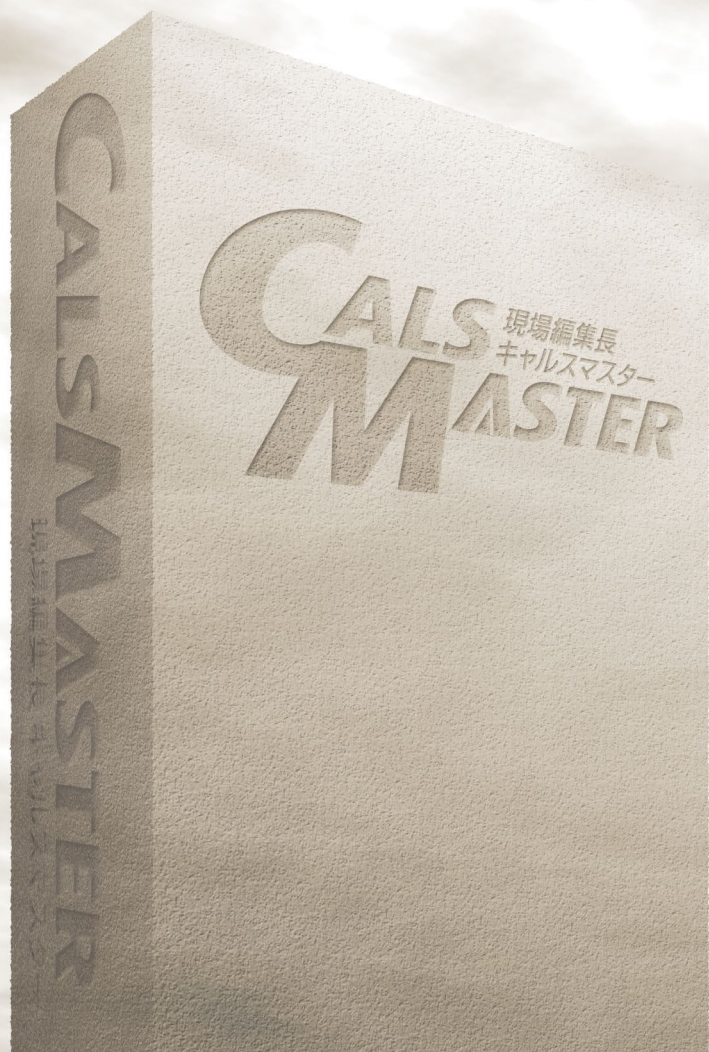
また、[完了マークをつける]を使用するとデータ量が多いときに管理負担を軽減できます。

※ 帳票様式の順番は工事管理画面の[様式マスター管理]からも変更できます。

2. 連続印刷を行う帳票様式のチェックボックスにチェックを入れます。
3. **[印刷]** ボタンかまたは **[ファイル出力]** ボタンを押して出力します。



- ※ データ量が多い場合、連続印刷画面の表示に時間が掛かりますのでご了承ください。
- ※ **[ファイル出力]** ボタンは **[PDF]**・**[Excel]** のいずれかの出力方法を選択します。
選択するとファイル名設定の画面に移行し、PDF文書かExcelワークシート（.XLS形式）にてファイルが保存されます。



発行日：2025年10月

発行者：ダットジャパン株式会社

CALS MASTER
現場編集長 キャルスマスター